

## 醍醐中央図書館開館 25 周年記念企画

# よもうちゃんと



その3

# こどもの本じゅずつながり

醍醐中央図書館は令和4年で開館25周年になりました!

醍醐中央図書館公式キャラクターの「よもうちゃん」が、京都にあるいろいろな子どもの本屋さんや、醍醐中央図書館の近くの小学校の学校図書館の図書館司書さんに会いに行ってきました!

### えほん館 むむむ



〒604-8375

京都市中京区西ノ京池ノ内町 23-5

にじょうじょう さんじょうかいしやうてんがい  
二条城と三条会商店街の近くにある、きやうまちや京町家です。

2階は秘密基地のような素敵な空間で、様々な展示をされています。手作りの人形や雑貨も絵本と一緒に展示・販売されていて、ゆったりくつろぎながら絵本を楽しめる、本屋さんです。

子どものころに読んでいた1冊をおしえてください。

『エルマーのぼうけん』 ルース・スタイルス・ガネット著 ふくいんかんしよてん 福音館書店

竜を救いに行ったエルマーは、トラやライオンや恐ろしい動物を、歯みがき粉やチューインガムを使ってかわします。そこが面白い。

最近読んでおもしろかった1冊は?

『盆まねき』 とみやすようこ 富安陽子著 かいせいしゃ 偕成社

なっちゃんの田舎の家。そこで、不思議なお話をいくつも聞かされます。お盆に何が一番大切なのか。それを教えてくれる本です。

今、子どもたちにおすすめしたい1冊は?

『風にのってきたメアリー・ポピンズ』 P. L. トラヴァース著 いわなみしよてん 岩波書店

メアリー・ポピンズは、ちょっときどったドラえもん。不思議な道具を出したり、夢のような場所へ連れてってくれます。本当に楽しい。



『風にのってきたメアリー・ポピンズ』  
P. L. トラヴァース(著)  
発行:岩波書店

### 店長・わたなべ渡邊ときこさんよりひとこと



私は 小学生の時太っていて、からかわれたりしてました。ちょっと悲しくなったら、私はお話の世界に行き、楽しい気持ちに切り替えてました。本を読むという事は、自分の心の中にふらっと遊びに行ける、安心な場所が出来るという事です。

そんな場所を、いっぱい持って生きてくださいね。

# 絵本屋きんだあらんど



〒606-8354

京都市左京区頭町351 きんだあビルディング 2階  
東山の川端二条の住宅街のまんなかにある小さな本屋さん。「きんだあらんど」とはドイツ語で「こどもの国」という意味だそうです。温かみのある木の本棚には「家庭で読まれる絵本と読み物」をコンセプトに、店主の蓮岡さんが選書したよりすぐりの絵本や児童書が並んでいます。

てんしゅ はすおか おさむ  
店主・蓮岡 修さんに聞きました!



子どものころに読んでいた1冊をおしえてください。

ぶっきょうどうわぜんしゅう ほうぞうかん  
『仏教童話全集』 法蔵館

幼児期には絵本を読んでもらった記憶はありませんが、  
祖父から『仏教童話全集』（法蔵館）を繰り返し読んでもらっていました。

今でも法話として記憶している物語のことを話す機会があります。

最近読んでおもしろかった1冊は?

ずかん いわつきひであき  
『雲の図鑑』 岩槻秀明 著 ベストセラーズ

空を見上げるとだいたい見ることができる雲ですが、その形状や流れ方から、大気の風の動きや、湿度の移動が予測できます。散歩の途中で見上げた雲から、明日の天気や気圧の変化を予測したりすることで、自然がより身近で親しみのあるものになります。

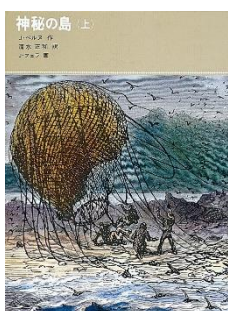
今、子どもたちにおすすめしたい1冊は?

しんぴ  
『神秘の島』 ジュール・ヴェルヌ 著 福音館書店

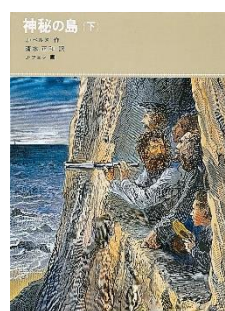
1874年に描かれた冒険小説。南北戦争のさなか、捕虜になっていた北軍の軍属が、連絡用の気球を奪って脱出し、無人島に不時着する。そこには、木や植物が豊富にあり、彼らはそこで全員の知識を合わせ自給自足の生活を始める。技師の指導の元でメンバーは協力し、原石から鉄を生成し、火薬を抽出し、ダイナマイトで灌漑工事を行い、薬草から薬を作り、ガラスやたばこまで自家製する。だが、そこに様々な危機が迫り、同時に不思議な守護神も現れる……。彼らの進歩の姿は100年以上前の科学技術を背景に描かれるので分かりやすく、その秩序だった行動や意思は、私たちにきっと生きる道理を教えてください。是非、読んでみてください。



『雲の図鑑』  
岩槻秀明(著)  
発行:ベストセラーズ



『神秘の島 (上) (下)』



ジュール・ヴェルヌ(著) 発行:福音館書店

# 醍醐中央図書館近くの学校図書館紹介

## 日野小学校



〒601-1406 京都市伏見区日野谷寺町 78

学校長 関根 達彦 先生

学校図書館司書・崎本由子さん からひとことメッセージ

開館25周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。読書は心の栄養。地域で本の好きな子どもたちが多く育つよう願っています。

子どもの頃に読んでいた1冊をおしえてください。

『赤毛のアン』 モンゴメリ 著 村岡花子 訳 ポプラ社

主人公のアンが成長していく心の描写や美しい情景が目に浮かぶ表現に夢中になりました。プリンスエドワード島への憧れが膨らみました。

最近読んでおもしろかった1冊は？

『5分後に意外な結末シリーズ』 桃戸ハル 著 学研

高学年に人気のある本です。短い話がたくさん収録されているので、いろいろな話が楽しめます。本が苦手な人でも楽しく読めます。

今、子どもたちにおすすめしたい1冊は？

『明日をつくる十歳のきみへ——〇三歳のわたしから』 日野原重明 著 富山房インターナショナル  
医師である日野原先生が「最高の友」であり「宝物」である十歳に向けて書いたメッセージがたくさんつまっています。



『明日をつくる十歳のきみへ——〇三歳のわたしから』  
日野原重明(著)  
発行:富山房インターナショナル

## 小栗栖宮山小学校



〒601-1461 京都市伏見区小栗栖宮山 1-1

学校長 岡 博士 先生

学校図書館司書・沖田紗世子さん からひとことメッセージ

生涯学習の場であり心の憩いの場でもある図書館。「私のお気に入りの一冊」との出会いの場となってくれたら嬉しいなと思います。

子どもの頃に読んでいた1冊をおしえてください。

『たぬき学校』 今井誉次郎 著 講学館

小さい頃近くに図書館はありませんでしたので、誕生日の父からのプレゼントです。もう少し大きくなってからは『ドリトル先生航海記』のシリーズを読んでいたと思います。

最近読んでおもしろかった1冊は？

『ひめさま! ぞうはすごくおおきいぞ』 丸山誠司 著 光村教育出版

天真爛漫な姫と御付きのじいとのやりとりがくすくと笑えます。姫が思い描いたゾウとはどんなものだったのでしょうか? 方言にも親しみを感じる一冊です。

今、子どもたちにおすすめしたい1冊は？

『くまざわくんといぬうえくん(シリーズ)』 きたやまようこ 著 あかね書房

字が読めるようになった一年生から大人までそれぞれの年代で楽しめるシリーズだと思います。



『ひめさま! ぞうはすごく  
おおきいぞ』  
丸山誠司 著  
光村教育出版

# 北醍醐小学校



〒601-1312

京都市伏見区醍醐片山町11

学校長 山本 太郎 先生

学校図書館司書・北村芳孝さんからひとことメッセージ  
ページをゆっくりとめくってみる。そこには涙と笑いと驚きがいっぱいつまっています。たくさん本を読んで心のおしゃれを!

子どもの頃に読んでいた1冊をおしえてください

『十五少年漂流記』 ジュール・ヴェルヌ 著 集英社

だれもが知っている冒険小説。15人の少年たちがくりひろげる冒険に時の経つのも忘れてしまいます。

最近読んでおもしろかった1冊は?

『ゴリラは語る』 山極寿一 著 講談社

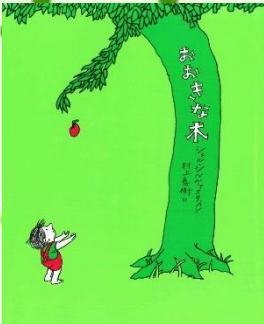
ゴリラ研究の第一人者である著者がゴリラ一家にホームステイした時のお話し。

人間ってなんだろう?読んで考えてみよう!

今、子どもたちにおすすめしたい1冊は?

『おおきな木』 シェル・シルヴァスタイン 著 村上春樹訳 あすなる書房

リンゴの木が少年の成長を見守り続けるお話し。少年が成長するにつれて、木はどんどんなくなっていき、最後は切り株だけになってしまいます。絵本のなかでもぜひ読んでほしい一冊です。



『おおきな木』  
シェル・シルヴァスタイン(著)  
発行:あすなる書房



『ゴリラは語る』  
山極寿一(著)  
発行:講談社

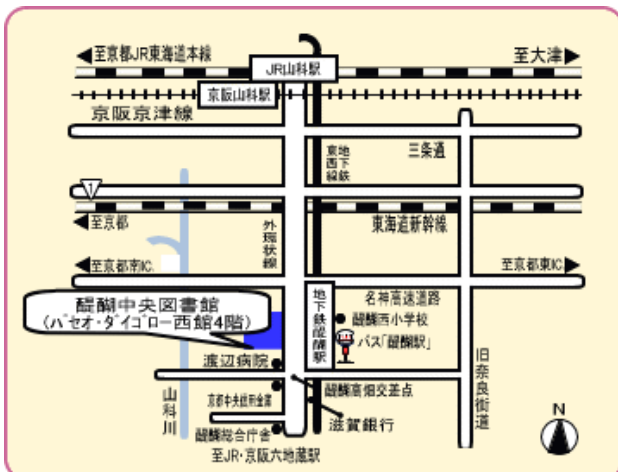
よもうちゃんからの質問に答えて下さった、  
書店員さん、学校図書館司書のみなさん、  
ありがとうございます!  
読んでみたい本がいっぱいだモ〜。



醍醐中央図書館公式  
キャラクター  
よもうちゃん

## みんなでヨモウ!知と夢が出会う場所

令和4年12月2日発行



## 京都市醍醐中央図書館

〒601-1375 京都市伏見区醍醐高畑町30番地の1

パセオ・ダイゴロー西館4階

TEL 075 (575) 2584

FAX 075 (575) 2587